

平成26年度第1回江別市立病院経営健全化評価委員会(平成26年8月28日)の概要

平成25年度の決算、医師数の状況、平成26年度4月から6月までの経営状況、平成23年度から平成25年度の経営健全化計画と実績の比較、平成26年度からの経営健全化計画行動プランについて事務局から説明を行いました。

平成25年度決算は、入院患者数が前年度を上回り、一般病床利用率が80%を超えたことや外来患者数は減少したものの単価が上昇したことにより、診療収益増につながり、その結果として単年度資金収支は約150,000千円の黒字となりました。これについて委員から、収支改善が引き続き良好に推移しており、病院職員の努力が伺えるとの評価をいただきました。

また、医師数については総合内科が増員になったことにより、診療体制がより充実してきていることを評価していただきました。加えて、引き続き医師確保に向けての努力と医師の勤務環境の改善に取り組むよう意見をいただきました。

平成26年度の診療収益の状況では、5月、6月と目標からの乖離が大きいことから、収益構造をよく分析することが重要であること等の意見をいただきました。

平成26年度からの行動プランについては、25年度までの行動プランの取り組み項目数をスリム化し、取り組み項目をより明確化したことで経営改善に向けて効果を発揮することが期待できるとの評価をいただきました。